

アジア主要国の景気概況

～中国・NIES・ASEAN・インド～

<2005年10月号>

【目次】

. 中華圏・韓国	
1. 中国経済の概況…景気は投資・輸出の好調を背景に堅調持続	… p.1
2. 中国の主要指標解説：在庫増は金属類の輸出拡大の一因か	… p.3
3. 台湾経済の概況…景気回復傾向が一段と着実に	… p.4
4. 韓国経済の概況…景気は緩やかに回復	… p.5
. ASEAN・インド	
1. タイ経済の概況…4~6月期の成長率は4.4%に持ち直し	… p.6
2. インドネシア経済の概況…テロ発生で新任回復に冷や水	… p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標	… p.8
4. インド経済の概況…4~6月期の成長率は8.1%に加速	… p.9
5. ASEAN経済の注目点…拡大する対日輸出	… p.10
. アジア通貨・株価動向	… p.11



【お問い合わせ先】調査部(東京) 海外経済班

野田 (E-Mail: ndmariko@ufji.co.jp)

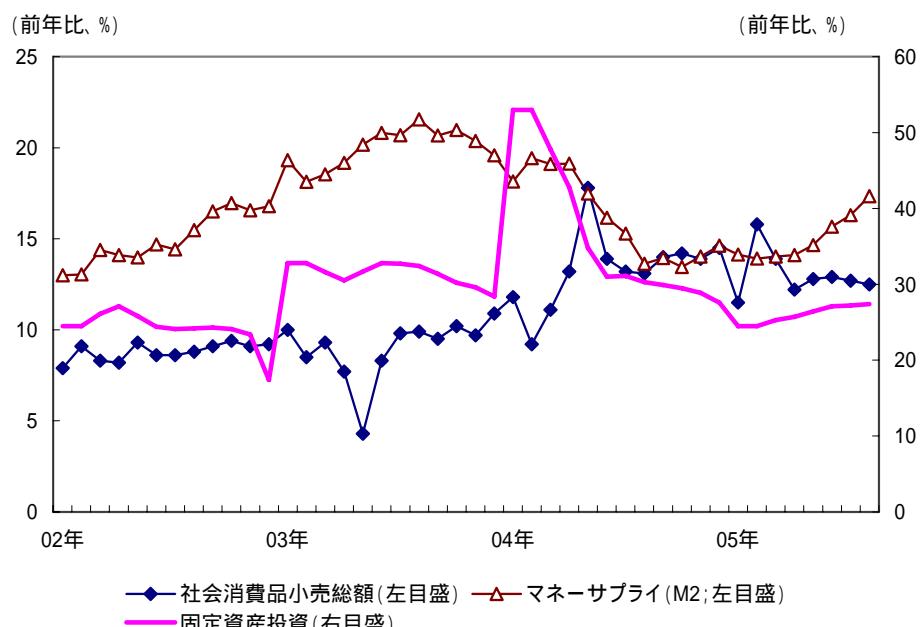
本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

・中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・景気は、投資の増勢持続と輸出の好調を背景に、足元も依然として堅調な拡大を続けている。都市部の投資額 50 万元以上の固定資産投資は、年初には政府のマクロコントロール（引き締め政策）もあり前年比 24%台にまで鈍化したものの、1~8 月は前年比 27.4%増となり、緩やかに持ち直している。
- ・輸出はアジア・欧州向け、機械・電機製品を中心に堅調が続いている、8 月は前年比 33.1%増となった。7 月 21 日の人民元改革に伴う元の切上げ幅が 2.1%の小幅に止まり、また、その後の上昇幅もわずかなものであることから、これまでのところ輸出に大きな影響はなかったようだ。こうした投資の拡大持続と輸出の好調を背景に、8 月の鉱工業生産（付加価値額）は前年比 16.0%増と堅調に推移している。
- ・一方、8 月の社会消費品小売総額も前年比 12.5%増とほぼ前月（同 12.7%増）並みの堅調な拡大ペースを持続している。8 月の乗用車の販売台数は前年比 26.3%増と 4 ヶ月連続で二桁台の増加が続いている、消費の基調は底堅いと見られる。
- ・物価面では、8 月の消費者物価上昇率は食料品価格の一段の安定から前年比 1.3%に低下しているものの、生産者物価は原材料や燃料価格の上昇を背景に前年比 5.3%と依然として高水準で推移している。川上段階のインフレ圧力がいずれ川下にも波及していく可能性はあるが、競争の激しい中国市場で小売段階での価格転嫁は容易とは考えられず、消費者物価が今年の政策目標値である年 4%を上回る可能性は低いと見られる。

主要経済指標の動き



(注)固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上ののみ。
(出所)CEIC 他

【中国・香港の主要経済指標】

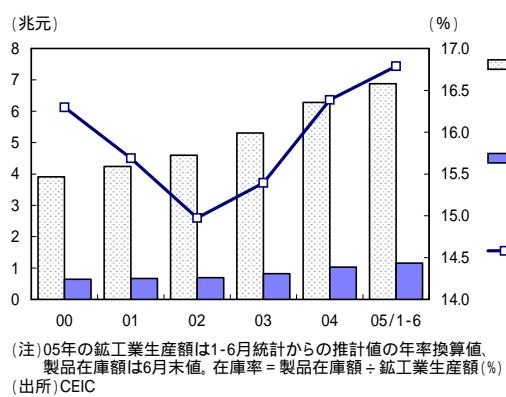
		2002年	2003年	2004年	04/3Q	04/4Q	05/1Q	05/2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
中国	G D P	実質 G D P 成長率 (累計ベース)	前年比%		9.1	9.5	9.4	9.5				
		前年比%		8.3	9.5	9.5	9.4	9.5				
	消費	名目 G D P 成長率	前年比%		8.1	11.6	16.6	16.3	16.6	14.9	14.2	
		社会消費品小売総額	前年比%		8.8	9.0	13.3	13.4	14.2	13.7	12.6	12.9
	投資	うち市	前年比%		14.6	14.9	17.7	18.5	15.0	14.7	13.7	14.0
		うち県	前年比%		6.0	12.7	15.7	17.3	14.3	12.8	11.0	11.2
		うち県以下	前年比%		7.6	9.2	11.8	11.6	11.9	11.2	10.3	10.5
		自動車販売台数	前年比%		37.5	33.5	16.9	7.9	9.8	0.8	19.3	36.0
	貿易	うち乗用車	前年比%		56.4	71.5	19.3	7.1	7.5	9.3	26.6	54.6
		消費者自信指数	期中平均		97.3	93.1	92.9	91.1	92.6	93.9	94.5	94.6
		消費者期待指数	期中平均		97.3	92.4	91.7	89.8	92.0	94.6	95.2	95.1
		固定資産投資(都市部・50万元以上; 累計ベース)	前年比%		17.4	28.4	27.6	29.9	27.6	25.3	27.1	27.1
香港	貿易	うち不動産・居住用建物	前年比%		21.9	29.7	25.3	26.0	25.3	24.4	20.0	20.0
		うち国内企業	前年比%				27.8	26.1	25.5	27.7	27.7	28.0
	生産	うち製造業	前年比%				41.7	36.3	25.6	35.1	35.1	35.7
		うち鉄鋼	前年比%				34.2	26.9	1.4	18.6	18.6	19.3
		うち輸送機械	前年比%				51.4	43.2	41.5	46.9	46.9	47.4
		うち電気機械	前年比%				66.8	64.2	40.2	56.3	56.3	58.1
		うち情報通信機器	前年比%				41.8	32.7	40.3	32.3	32.3	19.7
	所得	直接投資契約額(累計ベース)	前年比%		19.6	39.0	33.4	35.6	33.4	4.5	19.0	19.0
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%		12.5	1.4	13.3	21.0	13.3	9.5	3.2	3.2
	雇用	不動産景気指数	期中平均		104.4	107.1	105.8	105.1	105.1	102.8	101.8	101.7
		貿易収支	10億ドル		30.3	25.4	32.8	11.5	28.1	16.6	23.3	9.7
		輸出(ドルベース)	前年比%		22.1	34.6	35.4	34.7	35.6	34.7	30.9	30.6
		輸入(ドルベース)	前年比%		21.2	39.9	35.8	30.1	30.4	12.2	16.0	15.7
金融	貿易	対米貿易収支	10億ドル		42.7	58.6	80.3	23.5	25.5	21.4	27.7	10.1
		対日貿易収支	10億ドル		5.0	14.8	20.7	6.2	3.0	2.8	3.1	1.2
	生産	外貨準備	期末10億ドル		286.4	403.3	609.9	514.5	609.9	659.1	711.0	711.0
		鉱工業付加価値額	前年比%		12.7	16.7	16.3	15.8	15.0	14.5	16.5	16.8
	所得	うち国有企業	前年比%		11.5	14.1	13.7	12.9	13.0	10.9	11.1	10.2
		うち株式企業	前年比%		14.3	18.0	16.6	15.9	15.6	15.8	18.8	19.4
		うち外商・港台澳企業	前年比%		13.3	19.6	18.5	17.8	15.4	13.7	15.1	15.4
		在庫額	前年比%		2.6	10.1	20.2	20.5	23.7	21.0	20.3	21.2
	雇用	うち鉱物	前年比%		3.5	2.8	20.8	25.5	34.0	44.9	39.0	38.1
		うち素材	前年比%		3.0	8.6	25.4	25.2	30.3	25.3	25.7	28.1
		うち機械	前年比%		3.4	17.9	19.5	19.9	21.5	19.3	16.4	16.4
		発電量	前年比%		13.3	14.2	15.0	12.9	14.6	14.7	13.7	14.8
香港	所得	都市家庭一人当たり所得	前年比%		18.2	12.0	11.8	11.0	11.1	11.5	12.4	13.4
		鉱工業雇用者数	前年比%		0.3	11.9	7.2	6.8	7.0	4.9	9.3	10.4
	生産	労働力市場求人倍率	期末		0.89	0.88	0.88	0.94	0.94	0.94	0.95	
		製造業/全産業求人比率	期末%		25.8	31.6	31.6	32.9	31.9	33.5	31.9	
	物価	消費者物価指数	前年比%		0.8	1.2	3.9	5.3	3.2	2.8	1.7	1.6
		うち食品	前年比%		0.6	3.4	10.0	13.8	6.9	6.1	2.7	2.1
金融	貿易	うち家庭設備・家庭用品	前年比%		2.5	2.6	1.4	1.1	1.1	0.8	0.3	0.0
		生産者物価指数	前年比%		2.3	2.3	6.1	7.0	7.9	5.6	5.6	5.2
	生産	マネーサプライ(M2)	前年比%		16.9	19.6	14.5	14.1	14.5	14.2	15.7	15.7
		インター銀行金利(翌日物)	期中平均%		2.12	2.17	2.11	2.23	2.06	1.90	1.25	1.27
		株価指数(上海総合)	期末		1,358	1,497	1,267	1,397	1,267	1,181	1,081	1,081
	所得	為替レート(元/ドル)	期中平均		8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.23
		為替レート(円/元)	期中平均		15.1	14.0	13.1	13.3	12.8	12.6	13.0	13.1
香港	G D P	実質 G D P 成長率	前年比%		1.8	3.1	8.2	6.7	7.2	6.2	6.8	
		うち民間消費	前年比%		1.0	1.0	6.8	5.2	5.8	4.4	2.7	
		うち固定資本形成	前年比%		4.5	0.9	4.1	2.1	1.4	0.4	3.5	
	消費	名目 G D P 成長率	前年比%		1.7	3.4	4.7	3.7	4.5	4.5	5.7	
		小売販売数量指數	前年比%		2.6	0.6	9.1	6.7	7.3	7.6	6.5	5.2
	不動産	不動産価格指數	前年比%		11.1	12.0	26.7	31.2	29.5	22.1	21.7	22.9
		うち家屋160m ² 超(香港島)	前年比%		6.4	0.2	44.9	43.9	52.7	22.8	37.3	12.2
	貿易	不動産販売取引件数(香港域内)	前年比%		5.1	2.8	40.6	6.9	17.1	13.2	57.3	46.0
		貿易収支	10港HKドル		60.0	66.5	93.7	15.3	9.4	26.1	26.6	7.1
		輸出(香港ドルベース)	前年比%		5.4	11.6	15.8	17.1	15.3	10.5	12.5	12.6
金融	物価	輸入(香港ドルベース)	前年比%		3.3	11.6	16.8	18.2	11.7	8.1	10.1	10.5
		消費者物価指数	前年比%		3.0	2.6	0.4	0.8	0.2	0.4	0.8	1.2
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%		0.9	8.3	8.6	6.4	8.6	8.6	8.2	9.1
	金融	ハンセン指数	期末%		9,321	12,576	14,230	13,120	14,230	13,517	14,201	14,201

(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

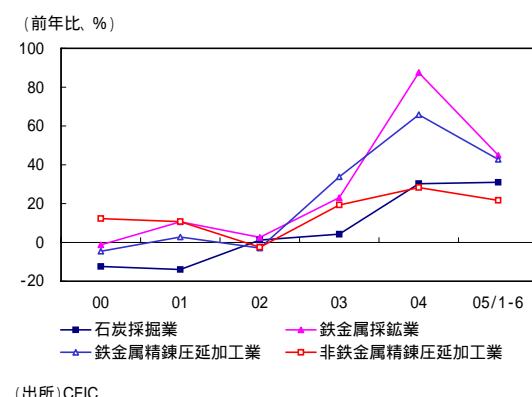
2. 中国の主要指標解説：在庫増は金属類の輸出拡大の一因か

- 中国の輸出が堅調なのは、在庫増加に直面した企業が輸出ドライブをかけていることも一因という指摘がある。実際、生産に対する在庫の割合を鉱工業生産額（名目GDPベース）に対する製品在庫額（期末値）でみると02年の15.0%を底に在庫率の上昇が続いている。04年末時点では16.4%、05年6月末時点では16.8%となっている（図表1）。ただし、在庫額の変動は業種によってかなりまちまちである。03年以降、在庫が大幅に増加している業種には石炭採掘業、鉄金属採掘業、鉄金属精鍊圧延加工業、非鉄金属精鍊圧延加工業などがある（図表2）。

図表1. 上昇する製品在庫率

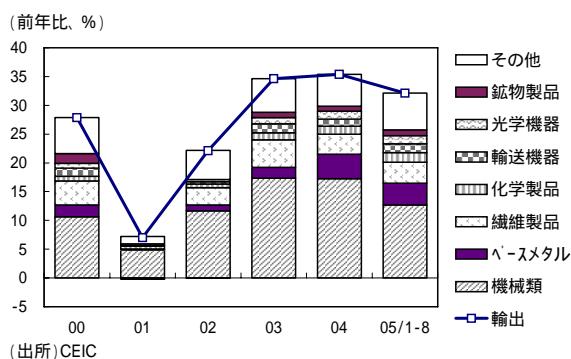


図表2. 金属関連業種で在庫が大幅に増加

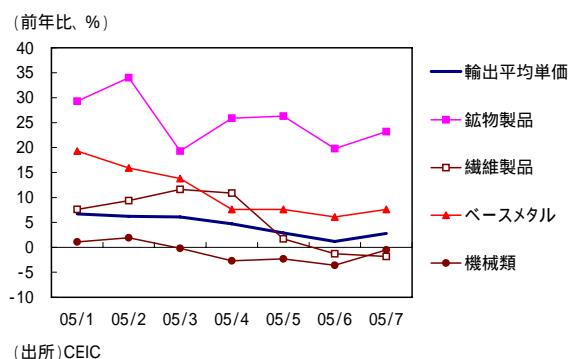


- 一方、商品別の輸出增加寄与度をみると、依然として輸出拡大の原動力は機械類であるが、03年以降ベースメタルや鉱物製品の寄与度が拡大しており、上記の在庫の動きと整合的である（図表3）。しかし、在庫圧縮のための輸出の場合、売り急いでいることもあります。価格が引き下げられる傾向にあると考えられるが、鉱物製品やベースメタルの輸出単価は年初来、前年比プラスで推移しており、こうした傾向は見られない。つまり国内在庫の増加によって金属関連業種を中心に輸出ドライブがかかった面もあるが、金属関連製品の輸出単価の高い伸びが続いていることからもわかるように、世界的に金属製品の市況が上昇している中で、利益拡大のために輸出を増やした可能性も考えられる（図表4）。

図表3. ベースメタルの輸出増加寄与度が高まる



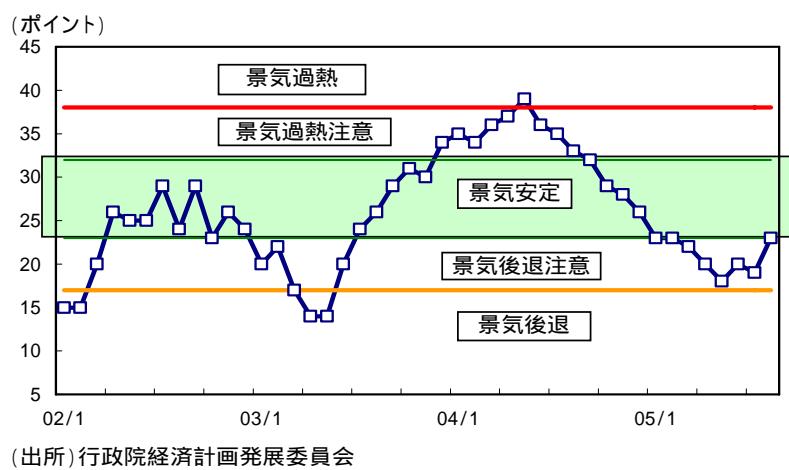
図表4. 鉱物製品の輸出単価は前年比高水準で推移



3. 台湾経済の概況

- 輸出の持ち直しを受けて生産も回復するなど景気の回復傾向が一段と着実なものとなってきた。香港、中国、日本など近隣アジア諸国向けを中心に8月の輸出は前年比7.6%増に加速。8月の輸出受注も同22.7%増とさらに拡大しており輸出の好調は当面続くと見られる。輸出の好調を反映して生産も回復。8月の鉱工業生産は同5.9%増となった。こうした中で景気対策信号も8月は23ポイントに上昇し、6ヶ月ぶりに「緑（景気安定）」が点灯した。
- ただし、消費については厳しい環境が続いている。ガソリン価格の上昇の影響で新車販売が落ち込んでいるほか、貸倒れ比率の上昇を受けて銀行がクレジットカード貸出を抑制している。また、台湾中銀は9月15日、インフレ抑制のため公定歩合を0.125%引き上げ2.125%とすることを決定した。

台湾：景気対策信号に「緑（景気安定）」点灯



(出所) 行政院経済計画発展委員会

台湾の主要経済指標

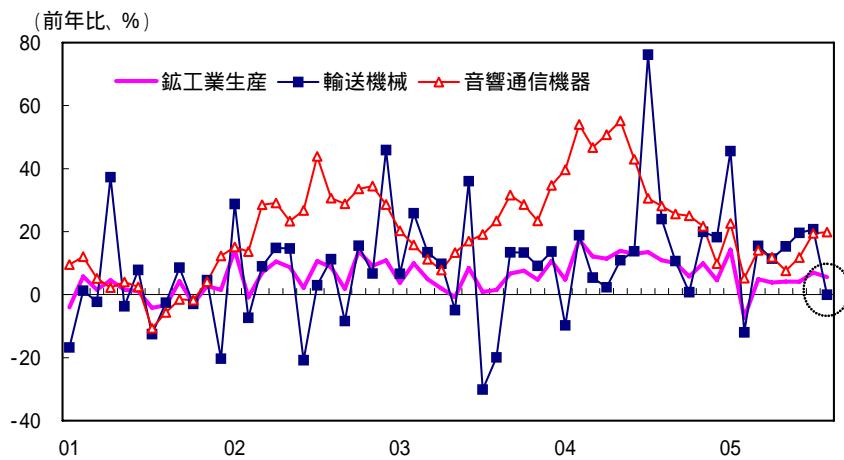
		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
G D P (yoy)	実質G D P	3.9	3.3	5.7	5.3	3.3	2.5	3.0				
	うち民間消費	2.1	0.8	3.1	1.4	3.3	3.0	3.2				
	うち総固定資本形成	1.6	2.0	15.4	13.7	14.9	11.9	8.8				
	(うち民間企業)	3.1	1.6	28.2	26.4	30.4	15.5	11.5				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.9	7.1	9.8	8.7	2.6	0.4	0.5	1.9	1.7	5.9	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	18.1	16.9	6.1	2.5	0.2	0.3	0.1	0.1	0.3	0.4	
	輸出(yoy)	6.3	10.4	20.7	21.5	11.9	7.8	6.0	3.1	5.3	7.6	
	輸出受注(yoy)	11.2	12.6	26.5	26.7	27.1	20.1	15.1	16.7	8.7	22.7	
	輸入(yoy)	4.9	13.1	31.9	31.9	26.1	12.6	10.6	2.5	9.7	11.1	
雇用	経常収支(10億ドル)	25.6	29.3	18.6	5.3	1.8	4.4	1.7				
	外貨準備高(10億ドル)	162	207	242	233	242	251	254	254	254	254	
物価 金融	失業率	5.2	5.0	4.4	4.6	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.4	
	消費者物価(yoy)	0.2	0.3	1.6	2.9	1.8	1.6	2.1	2.4	2.4	3.6	
	マネーサーブル(M2,yoy)	2.6	5.8	7.4	7.0	7.4	5.6	6.7	6.7	6.5	6.2	
	株価指数(加権指数)	4,452	5,891	6,140	5,846	6,140	6,006	6,242	6,242	6,312	6,033	6,119
	短期金利(オーバーナイト)	2.05	1.12	1.04	1.05	1.14	1.21	1.27	1.27	1.32	1.32	1.36
	為替レート(NT\$ドル/ドル)	34.6	34.4	33.4	34.0	32.9	31.5	31.4	31.4	31.9	32.1	32.9
	為替レート(円/NT\$ドル)	3.62	3.37	3.24	3.24	3.21	3.31	3.42	3.47	3.51	3.44	3.38

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. 韓国経済の概況

- 景気は緩やかに回復している。輸出の好調が続いている。8月(前年同月比18.1%増)に続き、9月も半導体、通信機器、家電製品などを中心に前年同月比18.7%増となった。原油価格の上昇を受けて輸入も拡大(9月:同24.5%増)しているが、輸出好調のおかげで貿易収支の黒字幅は若干拡大した。
- 8月の鉱工業生産は、自動車労組のストの影響で輸送機械の生産が前年同月比0.1%減となり、同5.5%増と7月(同7.0%増)よりやや鈍化した。ストがなければ前月並みの伸び率となっていた見込みである。
- 一方、消費は堅調に推移しているが、原油価格の上昇などから消費者マインドが悪化傾向にあり、先行き予断を許さない状況にある。

韓国: 8月の生産鈍化はストの影響大



韓国的主要経済指標

		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
G D P (yoy)	実質G D P	7.0	3.1	4.7	4.9	3.0	2.8	3.4				
	うち民間消費支出	7.9	1.2	0.5	0.7	0.5	1.4	2.8				
	うち固定資本形成	6.7	3.9	2.2	3.4	1.3	0.3	2.1				
	うち設備	7.5	1.2	3.8	7.3	2.3	3.1	2.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	8.0	5.0	10.4	11.5	6.7	3.8	4.1	4.1	7.0	5.5	
消費	小売売上高(数量,yoy)	8.2	2.0	1.4	1.7	1.7	1.2	2.5	1.8	1.9	3.6	
貿易 及び 対外	貿易収支(10億ドル)	10.3	15.0	29.4	6.9	7.3	6.3	6.2	2.5	1.8	1.5	2.1
	輸出(yoy)	8.0	19.3	31.0	28.9	21.2	12.7	9.0	9.5	10.7	18.1	18.7
	輸入(yoy)	7.8	17.6	25.5	27.3	23.6	14.7	15.0	14.3	16.5	20.5	24.5
関連	経常収支(10億ドル)	5.4	11.9	27.6	7.1	7.4	6.0	2.8	2.3	1.4	0.4	
	外貨準備高(10億ドル)	121	155	199	174	199	205	205	205	206	207	
雇用	失業率(季節調整済み)	3.3	3.6	3.7	3.6	3.6	4.2	3.6	3.6	3.7	3.6	
物価	消費者物価(yoy)	2.8	3.5	3.6	4.3	3.4	3.1	3.0	2.7	2.5	2.0	2.7
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	14.1	3.0	4.9	5.4	4.9	5.3	6.0	6.0	7.0		
	株価指数(総合)	628	811	896	835	896	966	1,008	1,008	1,111	1,083	1,221
	為替レート(ウォン/ドル)	1,247	1,192	1,140	1,158	1,071	1,020	1,010	1,024	1,026	1,031	1,038
	為替レート(円/100ウォン)	10.0	9.6	9.5	9.6	9.8	10.4	10.7	10.7	10.9	10.7	10.9
	C Dレート(3ヶ月物)	4.81	4.31	3.79	3.71	3.44	3.54	3.51	3.51	3.51	3.52	3.70

(出所) CEIC

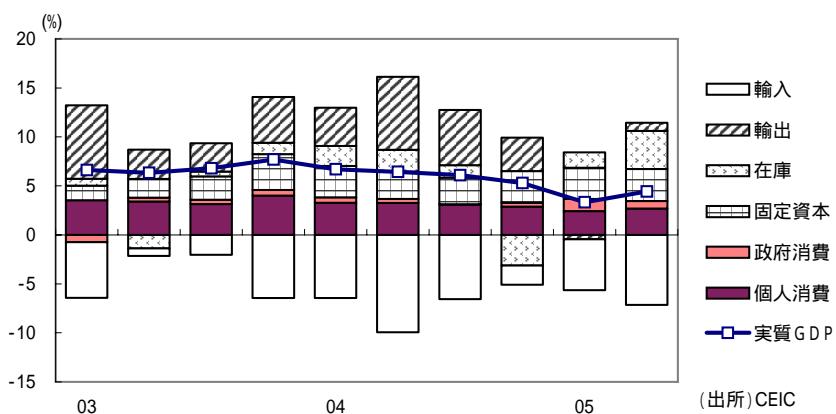
(注) yoy = 前年比(%)

. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- 2005年4~6月期の実質GDP成長率は前年同期比4.4%と前期(同3.3%)から持ち直した。しかし、中身を見ると原油等の輸入拡大に伴う在庫の寄与度が3.9%と大きくなっている。必ずしも景気の底打ち反転を示すものとは言えない。確かに、個人消費は同4.7%増と原油高にもかかわらず堅調な伸びとなったが、足元、物価高に加えて、南部の治安悪化などを背景に消費者マインドの悪化が続いている。消費の持続性にはやや不安がある。ただし、海外景気の回復に伴う輸出の回復や政府のメガ・プロジェクトが景気を下支えするため、大幅な落ち込みは回避されよう。
- 9月の消費者物価は前年比6.0%と発表された。中銀は10月にも再利上げを行おう。

タイ：4~6月期の成長率は4.4%に持ち直すも在庫の寄与大



タイの主要経済指標

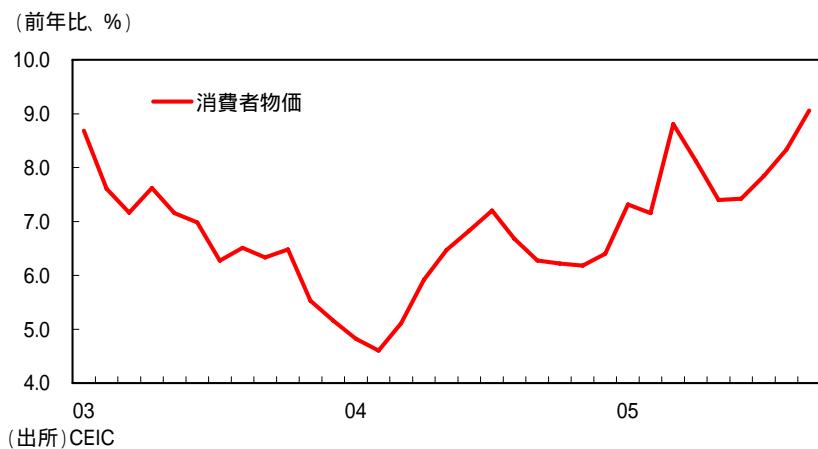
		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	6.9	6.1	6.1	5.3	3.3	4.4				
	民間消費	5.3	6.4	5.7	5.6	5.4	4.5	4.7				
	総固定資本形成	6.5	11.9	14.4	12.0	16.2	15.1	14.2				
生産	製造業生産指数(yoy)	9.0	13.9	11.1	12.7	9.1	3.8	8.0	9.7	4.9	11.2	
消費	総合消費指数(yoy)	4.6	5.4	3.7	3.8	1.4	0.2	0.9	3.1	1.2	2.8	
投資	民間企業投資指数(yoy)	12.3	13.7	12.3	11.6	7.5	7.7	9.9	9.4	8.3		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.6	5.2	2.7	0.3	1.7	3.0	5.2	1.9	0.1	0.0	
	輸出(yoy)	5.4	16.4	21.8	25.0	20.0	12.4	11.6	9.4	16.3	22.9	
	輸入(yoy)	4.0	16.6	26.6	29.9	17.3	28.6	34.0	35.4	18.4	19.6	
国際収支	经常収支(10億ドル)	7.0	8.0	6.6	1.2	2.8	1.5	4.7	1.5	0.2	0.1	
	外貨準備高(10億ドル)	38.9	42.1	49.8	44.8	49.8	48.7	48.4	48.4	48.4	49.4	
雇用	失業率(季調前)	2.4	2.2	2.1	1.6	1.5	2.6	2.1	2.1	1.4	0.0	
物価	消費者物価(総合,yoy)	n.a.	1.8	2.8	3.3	3.2	2.8	3.7	3.8	5.3	5.6	6.0
	消費者物価(コア,yoy)	n.a.	0.1	0.4	0.6	0.6	0.7	1.1	1.3	1.9	2.3	2.3
金融	マネーサーバイ(M2,yoy)	2.6	4.9	5.4	6.5	5.4	4.1	3.3	3.3	4.4	5.9	
	商銀貸出残高(yoy)	7.5	3.6	6.7	9.8	6.7	5.7	4.2	4.2	6.3	6.0	
	不良債権比率(3M基準,%)	15.7	12.6	10.7	11.4	10.7	10.7	10.3				
	株価指数(SET)	356	772	668	645	668	681	676	676	698	723	
	為替レート(バーツ/\$)	43.0	41.5	40.2	41.3	40.2	38.6	40.0	40.9	41.7	41.1	41.0
	為替レート(円/バーツ)	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
	インバーツ金利(3M)	2.15	1.56	1.62	1.63	2.17	2.50	2.68	2.75	2.75	2.75	2.75

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- 04年10月に発足したユドヨノ政権の下で、国内外からの信任が持ち直しつつあった矢先にバリ島で爆弾テロ事件が起こった。外資導入拡大による経済立て直しの目論見は冷や水を浴びせられた格好である。しかし、より重要なのはテロ前日に発表された石油製品価格の引き上げ（10月1日実施）の影響であろう。事前の予想を大幅に上回る引き上げ（平均126.6%）は痛みを伴う改革を断行するユドヨノ政権の取り組み姿勢を示すものと理解され、週明け10月3日のルピア相場は大幅に下落することはなかった。しかしながら、今後、石油製品値上げが社会不安を引き起こす事態となれば、ルピアは再び大幅に下落する可能性がある。
- 一方、9月の消費者物価は10月の石油製品価格引き上げを見込んだ財サービス価格の引き上げから前年同月比9.1%に加速した。

インドネシア：石油製品価格引き上げ前からインフレ加速



インドネシアの主要経済指標

		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
GDP (yoy)	実質GDP	4.4	4.9	5.1	5.1	6.7	6.2	5.5				
	民間消費支出	3.8	3.9	4.9	5.0	3.8	3.2	3.5				
	総固定資本形成	4.7	1.0	15.7	19.7	18.3	14.1	13.2				
生産	製造業生産(yoy)	7.1	3.9	4.0	3.3	8.2	19.2	15.1	5.7	7.3		
消費	小売売上(yoy)	5.6	7.0	7.3	2.1	3.2	29.4	28.1	27.6	23.3		
輸出入	貿易収支（10億ドル）	25.9	28.5	25.1	7.1	7.1	6.3	6.0	2.1	2.2	1.6	
	輸出(yoy)	1.5	6.8	17.2	27.7	32.1	32.2	24.2	16.2	17.2	10.0	
	(除く石油ガス,yoy)	3.1	5.2	18.0	30.2	33.3	35.1	26.9	17.4	14.9	3.4	
	輸入(yoy)	1.1	4.0	42.9	55.8	53.5	33.1	38.3	27.5	14.9	31.7	
国際収支	经常収支（10億ドル）	7.8	8.1	3.1	2.8	0.3	1.4	0.5				
	外貨準備高（10億ドル）	32.0	36.3	36.3	34.8	36.3	36.0	33.9	33.9	32.2	31.2	
物価	消費者物価(yoy)	n.a.	6.8	6.1	6.7	6.3	7.8	7.6	7.4	7.8	8.3	9.1
金融	マネーサプライ（M2,yoy）	4.7	8.1	8.1	8.3	8.1	9.1	10.1	10.1	11.6		
	株価指数（総合）	425	692	1,000	820	1,000	1,080	1,122	1,122	1,182	1,050	1,079
	為替レート（ルピア/ドル）	9,261	8,571	8,985	9,222	9,133	9,302	9,593	9,713	9,819	10,240	10,310
	為替レート（円/100ルピア）	1.35	1.35	1.20	1.19	1.16	1.12	1.12	1.12	1.14	1.08	1.08
	中銀資金利（3ヶ月）	15.25	10.17	7.39	7.30	7.30	7.29	7.79	8.05	8.45	9.25	9.25

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
G D P (yoy)	実質 G D P	4.4	5.4	7.1	6.7	5.8	5.8	4.1				
	民間消費	4.4	6.6	10.5	11.2	10.2	10.1	7.4				
	総固定資本形成	0.3	2.7	3.1	3.2	2.2	2.0	6.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	4.6	9.3	11.3	10.5	7.6	5.4	2.3	3.2	0.9		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	14.3	21.4	21.2	6.0	5.4	6.6	6.0	7.7	6.0	9.8	
	輸出(yoy)	6.9	11.6	20.5	26.9	16.1	13.7	10.8	11.7	2.9	12.5	
	輸入(yoy)	8.0	4.8	25.9	29.9	18.9	10.1	8.0	6.0	7.4	10.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.0	13.3	14.9	16.7	12.9	20.9	17.9				
	外貨準備高(10億ドル)	35	45	67	57	67	72	75	75	79	80	
雇用	失業率(%)	3.5	3.6	3.6	3.4	3.3	3.5	3.1				
物価	消費者物価(yoy)	1.8	1.1	1.4	1.5	2.1	2.4	3.0	3.2	3.0	3.7	
金融	マネーサーフィー(M2,yoy)	5.8	11.1	25.4	17.9	25.4	25.7	32.2	32.2	30.3	27.9	
	貸出残高(yoy)	4.1	5.2	26.0	14.4	26.0	26.5	35.2	35.2	35.9	32.8	
	不良債権比率(3M基準,%)	10.2	8.9	7.5	8.1	7.5	7.2	6.7	6.7	6.6	6.4	
	株価指数(総合)	646	794	907	850	907	871	888	888	937	914	928
	為替レート(リヤ/\$)	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.79	3.76	3.77
	為替レート(円/リヤ)	33.0	30.5	28.5	28.9	27.8	27.5	28.3	28.6	29.6	29.4	29.5
	インバウンド金利(3M,%)	2.92	2.88	2.84	2.82	2.81	2.79	2.82	2.84	2.86	2.88	2.89

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【フィリピンの主要経済指標】

		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
G D P (yoy)	実質 G D P	4.4	4.5	6.0	6.2	5.3	4.6	4.8				
	民間消費支出	4.1	5.3	5.8	5.5	5.7	5.0	4.9				
	固定資本形成	2.3	2.2	4.2	3.6	4.3	4.4	1.4				
生産	鉱工業生産(yoy)	6.1	0.0	1.0	1.3	7.6	0.7	0.4	5.1	1.1		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.0	4.2	4.4	1.1	0.2	0.5	1.6	0.6	0.2		
	輸出(yoy)	9.5	2.9	9.5	8.7	11.6	3.3	3.3	1.2	11.4		
	輸入(yoy)	18.7	3.1	8.8	11.3	6.4	6.5	3.4	6.0	3.1		
国際収支	経常収支(10億ドル)	4.4	1.4	2.1	0.4	1.7	0.7	0.4	0.2			
	外貨準備高(10億ドル)	12.8	13.9	14.4	14.0	14.4	15.4	16.7	16.7	16.7	17.1	
物価	消費者物価(yoy)	n.a.	3.5	6.0	6.9	8.1	8.5	8.2	7.6	7.1	7.2	
金融	マネーサーフィー(M2,yoy)	9.5	3.3	9.4	5.5	9.4	12.2	13.4	13.4	14.5	100.0	
	株価指数(総合)	1,018	1,442	1,823	1,762	1,823	1,955	1,924	1,924	2,000	1,937	1,942
	為替レート(ペソ/ドル)	51.7	54.4	56.2	56.2	56.3	54.9	54.9	55.9	56.1	56.2	56.1
	為替レート(円/ペソ)	2.42	2.13	1.93	1.96	1.88	1.90	1.96	1.94	2.00	1.97	1.98
	TB(3ヶ月,%)	5.50	5.87	7.32	7.44	7.83	7.02	6.18	5.80	5.72	5.62	5.80

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

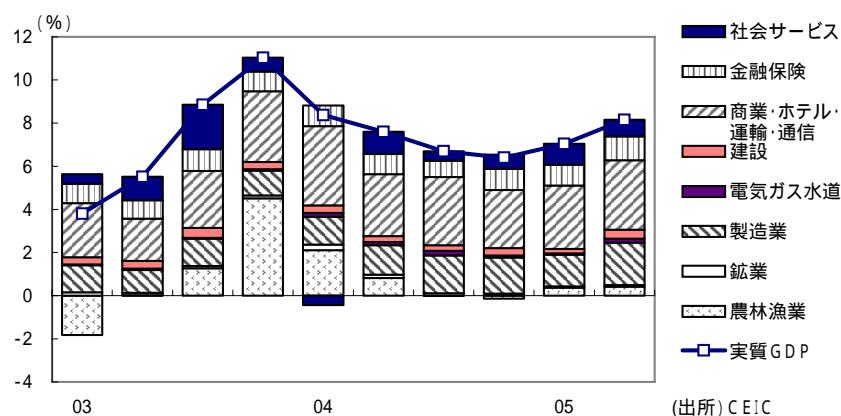
【シンガポールの主要経済指標】

		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
G D P (yoy)	実質 G D P	3.1	1.3	8.4	7.3	6.5	2.7	5.2				
	民間消費	3.0	0.5	8.6	7.2	6.6	2.7	2.3				
	総固定資本形成	10.5	5.1	8.1	10.0	0.2	5.1	4.3				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.6	3.0	13.0	11.6	13.7	6.1	6.1	12.0	7.7	10.3	
消費	小売売上指数(yoy)	1.0	8.7	13.5	9.7	7.6	6.1	11.6	11.4	10.8		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	8.7	16.2	16.1	4.1	4.9	3.4	3.9	2.0	2.1	2.8	
	輸出(yoy)	2.8	15.2	24.6	28.5	22.2	14.7	13.3	9.2	9.2	19.3	
	輸入(yoy)	0.4	9.8	27.8	34.1	23.7	16.0	14.2	14.7	5.3	18.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	15.7	27.0	27.9	13.4	13.1	12.3	15.3				
	外貨準備高(10億ドル)	82	96	113	103	113	113	115	115	116	116	
雇用	失業率(季調,%)	3.6	4.0	3.4	3.0	3.0	3.3	3.4				
物価	消費者物価(yoy)	0.4	0.5	1.7	1.9	1.7	0.3	0.1	0.2	0.1	0.7	
金融	マネーサーフィー(M2,%)	0.3	8.1	6.2	8.4	6.2	4.3	4.6	4.6	5.2	6.0	
	株価指数(ストレイト)	1,341	1,765	2,066	1,985	2,066	2,141	2,213	2,213	2,353	2,275	2,305
	為替レート(\$\$/\$\$)	1.791	1.742	1.690	1.707	1.657	1.636	1.659	1.672	1.684	1.663	1.681
	為替レート(円/ \$\$)	70.0	66.5	64.0	64.4	63.8	63.9	64.8	65.1	66.5	66.5	66.2
	インバウンド金利(3M,%)	0.94	0.74	1.05	1.27	1.40	1.92	2.08	2.06	2.00	2.06	2.38

4. インド経済の概況

- 2005年4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比8.1%と前期(7.0%)を1%ポイントも上回る高成長となった。牽引役は製造業(前年同期比寄与度2.0%)とソフトウェア産業を含む商業・ホテル・運輸・通信業(同3.2%)である。海外景気の持ち直しを受けた輸出の好調とシン政権下で進む経済改革が高成長に寄与したと見られる。しかし、インド国内では、シン政権の経済改革・開放路線に反対する勢力も多く、9月29日には24時間の全国一斉ストが実施され、経済活動に混乱が生じた。改革が後戻りするようなことになれば今後、経済活動にマイナスの影響が出る可能性がある。
- 一方、農業は降雨量不足で生産が伸び悩んだことから前年同期比2.0%増(同寄与度0.4%)にとどまった。ただし、その後の降雨量は平年並みと予想されており、年後半以降は農業部門の成長寄与度も高まると見られる。

インド：製造業、商業ホテル運輸通信業を牽引役に高成長



インドの主要経済指標

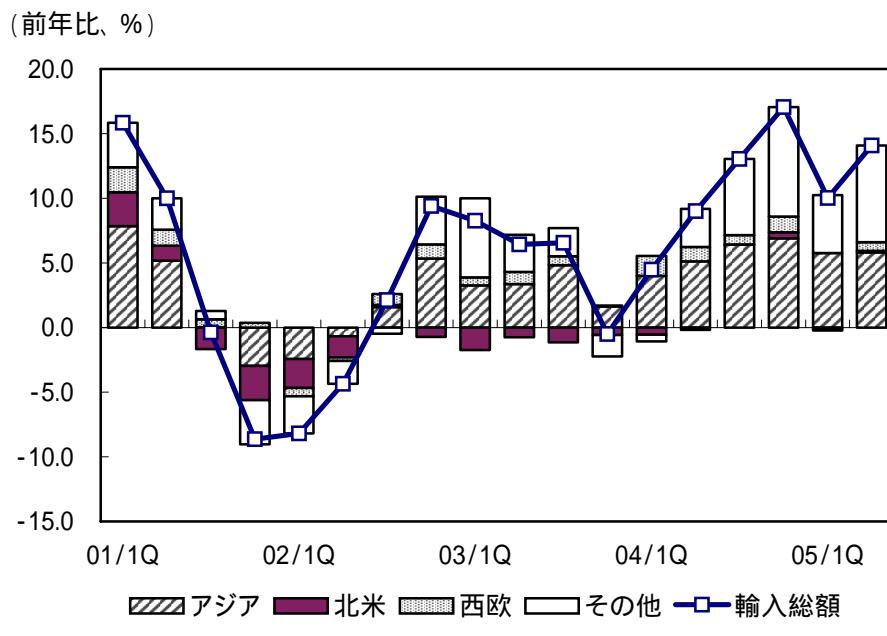
		2002年	2003年	2004年	04/3Q	4Q	05/1Q	2Q	05/6月	05/7月	05/8月	05/9月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	7.3	7.2	6.7	6.4	7.0	8.1				
	農業生産	2.7	4.6	3.2	0.0	0.5	1.8	2.0				
	実質GDP(年度)	4.0	8.5	6.9								
生産	農業生産(年度)	7.0	9.6	1.1								
	鉱工業生産(yoy)	4.9	6.6	8.5	9.0	9.1	7.8	10.3	11.7	6.7		
	輸出入	7.3	13.7	21.7	5.9	7.5	7.7	11.7	4.0	2.7	3.1	
輸出入	貿易収支(10億ル)	13.8	16.7	31.5	29.1	24.5	17.8	19.8	19.0	26.8	24.9	
	輸出(yoy)	12.7	26.0	36.5	39.8	35.6	40.9	39.3	30.0	33.2	32.4	
	輸入(yoy)											
国際収支	経常収支(10億ル)	7.1	6.9	0.8	4.5	5.5	0.2	6.2				
	外貨準備高(10億ル)	67.0	97.6	125.2	114.1	125.2	135.6	132.4	132.4	134.6	138.0	
物価	卸売物価(yoy)	2.5	5.3	6.6	8.0	7.2	5.3	5.3	4.3	4.2	3.2	
	消費者物価(yoy)	4.3	3.8	3.8	4.2	4.2	4.2	4.0	3.3	4.1	3.4	
金融	マネーサーバンク(M3,yoy)	15.9	13.0	13.0	14.1	13.0	12.4	13.7	13.7	14.1	14.2	
	株価指数(BSE Sensitive)	3,377	5,839	6,603	5,584	6,603	6,493	7,194	7,194	7,635	7,805	8,634
	為替レート(ル/-ドル)	48.6	46.5	45.2	46.2	44.6	43.7	43.6	43.5	43.5	44.0	44.0
	為替レート(円/ル/-)	2.58	2.49	2.39	2.38	2.37	2.39	2.46	2.50	2.6	2.5	2.5
	TB3ヶ月	5.93	4.92	4.70	4.69	5.35	5.30	5.23	5.37	5.49	5.20	5.16

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月

5. ASEAN経済の注目点～拡大する対日輸出

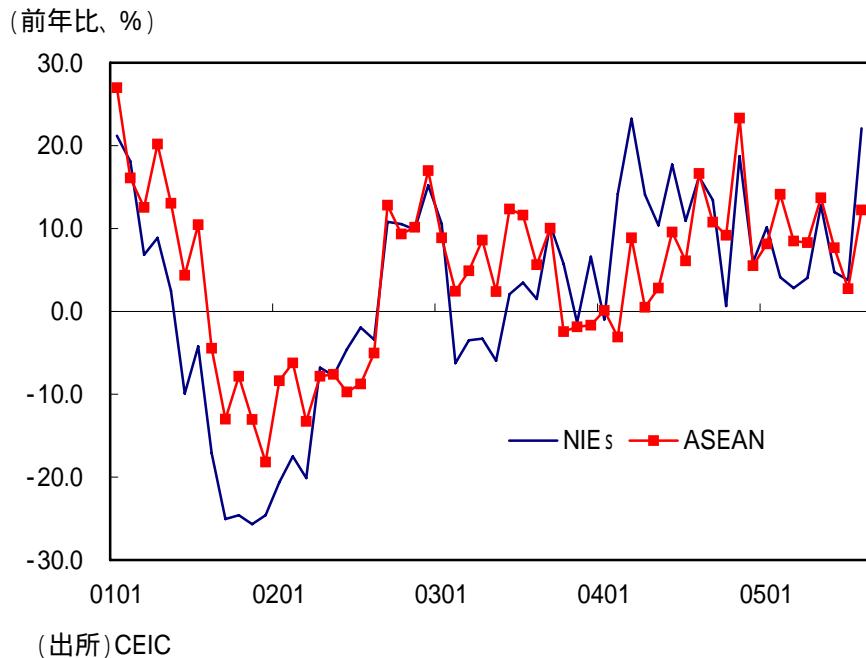
- 日本の景気回復が、アジア諸国の景気回復にも寄与している。04年以降、日本の輸入拡大テンポが加速する中で、韓国、台湾などのNIEs諸国に続いてタイ、インドネシアなどASEAN諸国対日輸出の拡大テンポも加速している。

日本の主要地域別輸入動向



(出所)CEIC

アジアNIEs並びにASEANの対日輸出動向



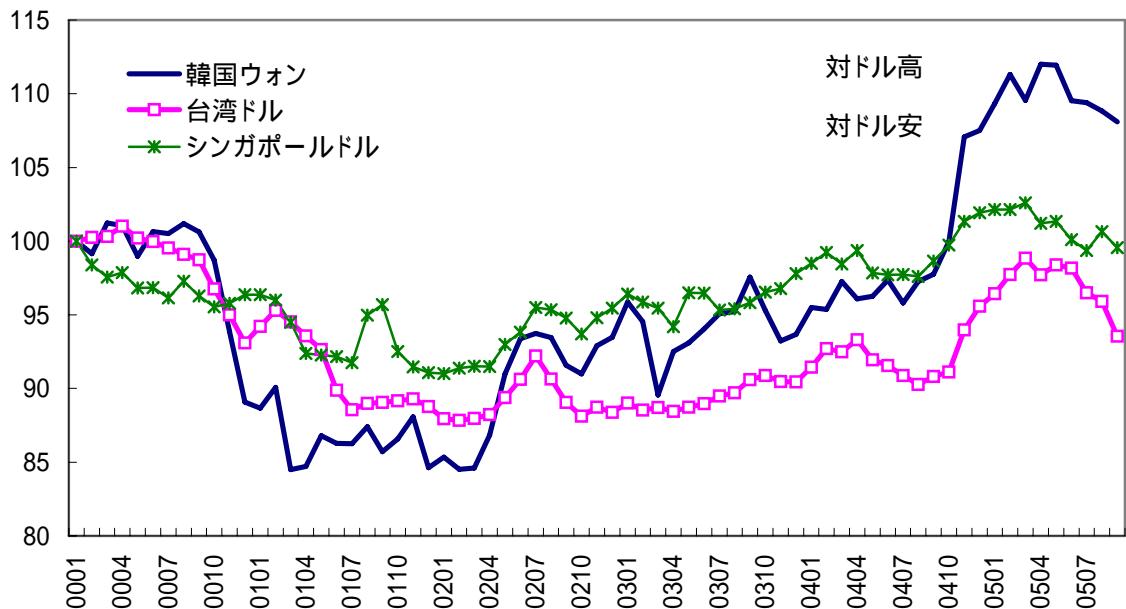
(出所)CEIC

. アジア通貨・株価動向

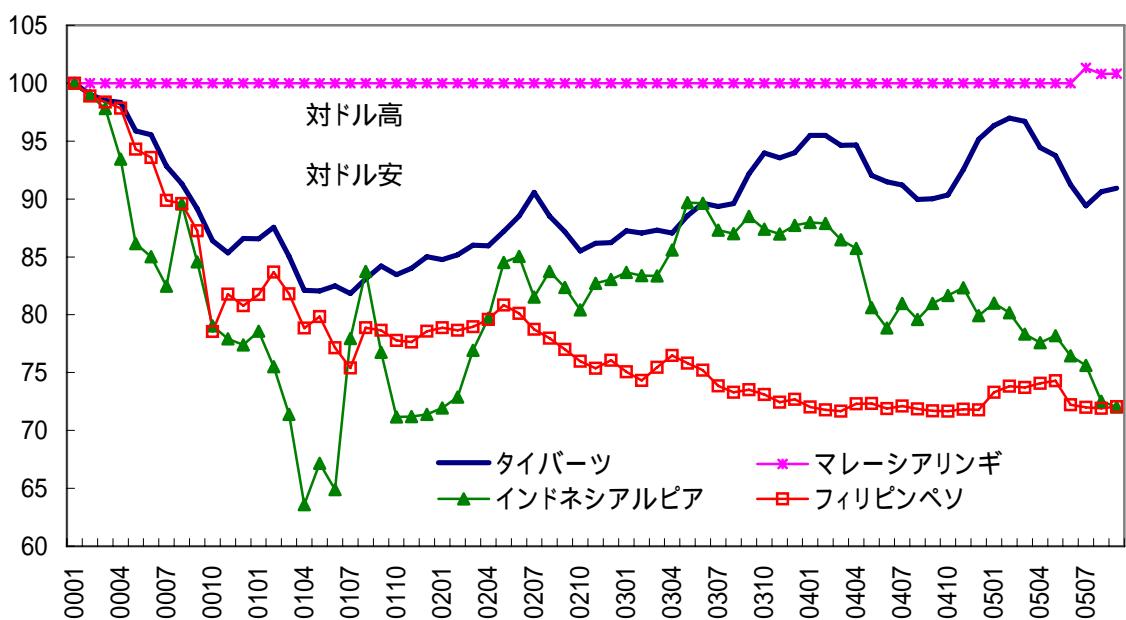
アジア通貨の対ドル相場の推移

<2000年1月 = 100>

(2000年1月 = 100)

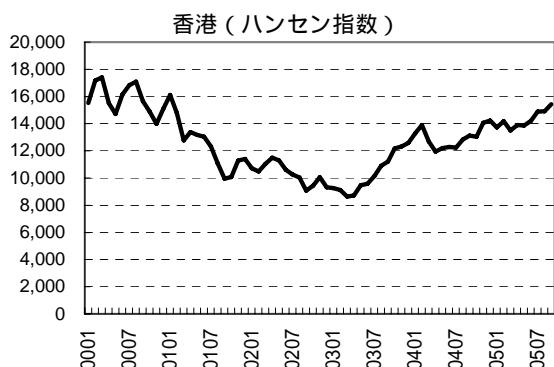
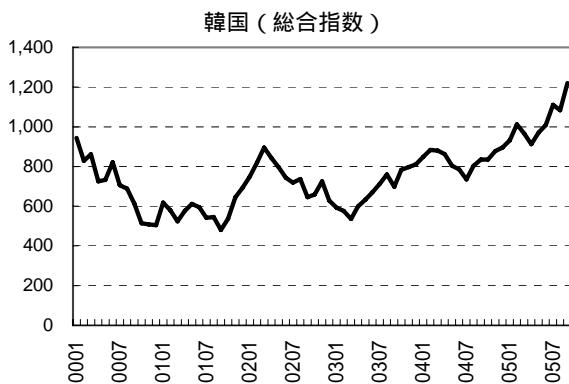


(2000年1月 = 100)



(出所) C E I C

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC